

平成 31 年度（令和元年度）第 1 回地殻活動研究委員会活動記録

日 時：令和 2 年 1 月 23 日（木）～24 日（金）

場 所：瑞浪地科学研究館 1F セミナールーム

出席者：石井 紘、板場智史、大塚成昭、加納靖之、笠原 稔、川崎一朗、木股文昭、  
佐々木嘉三、佐野 修、鈴木貞臣、高橋浩晃、田阪茂樹、津村建四朗、  
名和一成、長谷川昭、古本宗充、松浦律子、三浦 哲、宮岡一樹、向井厚志、  
村上 亮、山川 稔、山中佳子、吉岡祥一（24 名）

オブザーバー：青木治三、関根正夫（2 名）

事務局：浅井康広、田中俊行、光井能麻、村上 理（4 名）

議 事： 23 日（木）13:30～18:10

研究活動の紹介(1)

1. 津村建四朗 東北地方太平洋沖地震後に宮城県沖に誘発された繰り返し地震活動  
(第 2 報)
2. 川崎一朗 東北地震による誘発地震の総括
3. 長谷川委員 内陸の浅部低周波地震
4. 青木治三 南海トラフ沿い巨大地震の予測
5. 高橋委員 北海道胆振東部地震など地表に痕跡を残さない地震について
6. 板場委員 既存未使用井戸を用いた安価な歪観測のための技術開発
7. 石井 紘 地上用拡大装置の適用例－小型歪地震計の開発－
8. 佐野 修 新開発応力計の特徴
9. 向井委員 2018 年大阪府北部地震時の断層すべりに伴って観測された歪変化
10. 田阪茂樹 割石温泉における湯量観測
11. 名和委員 弟子屈超伝導重力計観測の現状
12. 三浦委員 2015 年蔵王山膨張イベントの変動源

議 事（続き）： 24 日（金）9:30～12:30

研究活動の紹介(2)

1. 村上委員 ALOS2/PaISAR2 が示唆する恵山火山の斜面滑動
2. 吉岡委員 温度・歪速度依存の 3 次元不均質粘性構造モデルを用いた 2011 年東北  
地方太平洋沖地震に伴うプレート間における余効すべりと固着の  
時空間分布
3. 松浦委員 近世の歴史地震解析二十余年の成果 東濃周辺を中心に
4. 加納委員 震度予測式を利用した地震史料の検討
5. 西村委員 GNSS データから推定される関東地方の短期的 SSE の発生分布
6. 光井能麻 短期的 SSE 発生源モデルの再考：歪の空間分布による非断層すべり成分  
の検出可能性
7. 宮岡委員 短期的 SSE の中に見られた加速フェーズ
8. 笠原 稔 東濃地震科学研究所の歪・応力・地震動データベースの再構築と  
ファイル構造の変更